

はぎの里運営推進会議録 第17回

日 時	令和3年2月12日 13時30分から	
場 所	田原コミュニティセンター	
出席者	自治会長	1名
	民生委員	0名(欠席の連絡あり)
	校区有識者	4名(1名の欠席連絡あり)
	ささえりあ	1名
	家族代表	1名
	はぎの里職員 田原ふれあいの家	会長 代表 宮崎 淵上

現状報告

令和2年12月12日から令和3年2月12日まで

入居者数	8名(男性0名 女性8名)	
平均年齢	88.8歳	
平均介護度	1.75	
介護度	要支援2	0
	要介護1	4名
	要介護2	1名
	要介護3	3名
	要介護4	0
	要介護5	0
地域別	熊本市北区	7名
	中央区	
	東区	
	西区	1名
	南区	
屋内・野外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外活動は新型コロナウイルスで行っていません。 ・100歳の誕生日会をしました。 	

日常の経過報告

- ・年末年始のご家族様の面会のご家族様が自粛されていました。
- ・体調管理感染防止は継続しています。
- ・R3年1月3日誕生日でその日に誕生日会をしました。100歳で視力聴力の衰えはない又自分の思いを伝えることができる方です。
- ・2月10日23時頃に要介護2の女性のご利用者様自室で転倒、ご家族様に連絡。

ホーム代表者、管理者に連絡しました。

議 題

- 1、転倒
- 2、新しい取り組みへの検討
- 3、運営会議の日程

1、転倒

- ・独歩女性自室で転倒された。
- ・室内より音がしたので訪室、床に転倒されていた。
- ・意識痛みの部位確認。痛みの部位判り臥床その後連絡した。
- ・ご家族様代表者管理者へ電話連絡、すぐにホーム代表者応援に駆け付ける。
- ・救急車依頼ご家族様承諾の下に救急搬送する。
- ・診断名を聞く。
- ・熊本市に事故報告書提出した。

救急搬送後診察受けて診断名を聞き、ご家族様と一緒に医療機関を後にしました。

転倒事故は常に意識はしているが発生時期については不明、緊急的な処置についての知識は習得しておくことが必須だと思う。

2、「看取り」に取り組む準備

- ・開設して3年を経過した。
- ・開設時からご利用して頂いている方も徐々に身体機能体力も低下してきている。
- ・ご家族様との信頼関係も構築されてきている。
- ・「最後は自然が一番です」と思いを語られるご家族様も増えている。

そこで私たち職員も「此処で最期は自然に」と家族の話を聞くようになりました。まだ食事も食べ自分の足で動いているご家族様の思いも聞き取り組んでは？と考えております。

それに伴い準備の時間が必要。

3、運営推進会議

- ・誕生会は1月3日で満100歳でした。
- ・引き続きコロナ感染防止継続します。
- ・次回の会議は R3年 4月16(金曜日) 13時30分。